



長 崎 県
中 小 企 業 家 同 友 会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
 U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

**同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを
 -地域に根ざした人間尊重の企業づくりを-**

創立40周年

第19回経営フォーラム in SASEBO

「より深く！ より広く！」

同友会をより深く学び、同友会をより広く知らせよう！

10月6日（土）九十九島観光ホテル

記念講演

『夢持ち続け日々精進』

(株) ジャパネットたかた 代表取締役 **高田 明 氏**



佐世保支部 **橋口 久**

記念講演では、創立40周年、そしてホスト支部佐世保に相応しい、株式会社ジャパネットたかた代表取締役の高田明氏が登場。日本の最西端佐世保に軸を置きながら、従業員468人（2012年9月現在）、年商1,531億円（2011年12月期）と小さなカメラ店を通販業界の雄へと成長させた高田氏。講演テーマの「夢持ち続け日々精進」は、高田氏オ

リジナルの座右の銘であり、また実践を通して真となった、高田氏のあくなき挑戦を支え続ける礎でもあった。

平戸市のカメラ店の次男として生を受けた高田氏は、高校卒業までを平戸で過ごし、大学は大阪へ。在学中はE S S(英語)に熱中し、阪村機械製作所に入社後は、入社2年目で欧州駐在を命じられた。若さの特権である吸収力の高さを保ちつつ、社会性も醸成され始めた二十代半ばは、人生の活力の源泉をどこまでも深掘できる恵まれた世代。この世代で海外駐在の要職に就き、訪れた様々な国の異文化を肌で感じる事ができたことは、高田氏のその後の人生において大きな追い風になったに違いない。

阪村機械製作所を退職した後は、友人と翻訳事業を興そうとするが、実現には至らず、平戸へUター



目次

第19回経営フォーラム in SASEBO 報告.....	1	新入会員・復会の皆さん	11
経営フォーラムを終えて	7	コラム	12
記念式典・祝賀会風景	8	12月例会案内	13
ご来賓の皆様.....	10	理事会報告・会員消息	14

ン。父が経営する「カメラのたかた」に入社し、家業を手伝うようになった。「カメラのたかた」はいわゆる街のカメラ屋さんで、カメラ販売や写真の現像を生業としていた。しかし、その後ホテルや温泉旅館の団体宿泊客相手の商売を始めたところ、これが大成功。宴会の宿泊客を撮影した写真を翌朝チェックアウト前に現像して渡す仕組みがヒットした。そうして家業も順調に伸び、松浦市に松浦営業所、続いて三河内に佐世保営業所を開設。高田氏はそれぞれ初代の営業所長となり両営業所を急成長させ、その後家業から独立させ設立した「株式会社たかた」へと至る基盤を築いた。

株式会社たかたでは、当時パスポートサイズというキャッチコピーで日本中を席卷したソニーのビデオカメラに惚れ込み、ソニーショップの特約店ビジネスも順調に成長させた。講演の中での惚れ込んだビデオカメラのくだりでは、現在の通販番組で興奮気味にお茶の間に語りかける高田氏そのままの姿があった。高田氏は冒頭で、「自分自身を信じていますか？」とステージから語りかけられた。どんなビジネスでも、自分を信じ、そして携わる商材を愛さないことには、顧客はこちらに顔を向けてくれない。

昨今、ジャパネットたかたの通販番組を見聞きしない日はない。テレビ、ラジオでの高田氏の笑顔と声のトーンは既に私たちの日常の一部となってしまう、私たち企業家も番組の前ではつい一消費者になってしまいがちだ。しかし、高田氏の番組の視聴こそ、私たち企業家の生のビジネス教本と言えよう。本を執筆されるなら、タイトルは「60秒に懸ける人生」にしたいとお話された高田氏。60秒のCMで家電商品等を紹介するわけだが、どう商品を並べ、背景は何にするか、カメラの寄り方は、しゃべり手の身振りは…たった60秒の中に様々な角度から課題が出てくる、それら全てが上手くいった時に、お客様に支持して頂ける。アイデアと企業家精神が濃縮された高田氏の60秒。私たち企業家にとっては、大変有り難い「60秒の学び」だ。

その後のジャパネットたかたの快進撃は皆様ご存じの通りである。今夏からは、「もっとワクワク。もっとドキドキ。」をコンセプトに、「MOVE JAPANET」の展開をスタート。六本木のビルからは東京タワー、スカイツリー、遠くには富士山が見える。そういう風景を見ていると心の目を通して北海道や沖縄まで見えてくるように感じ、そこへ拠点を構えた。時代の開拓者、そして常に自らを変化の渦の中心とする高田氏に大きな敬意を表したい。

「伝える力」も大切だとお話があった。自分の感動を、人に伝え、共有させることができるかどうか。経営者に伝える力がなければ、経営者の想い、そして自社の経営理念を社員と共有することはできない。「MOVE JAPANET」の「MOVE」は動くという意味だけではなく、感動させるという意味もあるという。商品の感動をどれだけお茶の間に伝えることができるか。これは高田氏の日々の指針であり、また、終わりのない挑戦でもあるだろう。

高田氏の話し方は終始謙虚であった。「ジャパネットたかたがここまで成長できたのは、日々の地道な積み重ねであり、常に自分が置かれている立場で精一杯の努力を繰り返してきた結果である」講演のテーマであった座右の銘は、実践の継続を怠らない高田氏の生き様そのものだ。

自分を信じ、強い信念を持つこと。自分ができることからスタートして良い。そしてやり続けること。そうすれば夢は叶う。スタートはいつでもできる。高田氏は力を込めて私たちに伝えられた。「私は40歳までホテルで撮影をしていたんですよ！」

自分を信じているかと高田氏が問うのは、多くの企業家がまだまだ自分を最大限に活用できていないのではないかという警鐘。40歳までホテルで撮影していたと言われるのは、できない言い訳でチャンスを潰すなという高田氏から私たちへのエール。

事業がうまくいかないのは、時代のせいではない。景気のせいではない。環境のせいではない。「夢持ち続け日々精進」すれば、必ず夢は叶う。会場の熱気の中、高田氏の熱い企業家精神を共有できた素晴らしい講演だった。講演が終わり会場を包みこむ拍手の中で、高田氏にMOVEされた同友会会員たちのスタートの号砲が鳴り響いた。

(文責 佐世保支部 橋口 久)



第1分科会

『いかなるときも、地球を守り、人を守る』 ～小さな一流企業として、復興の拠点として 「3.11」から学ぶこと～

(株)高田自動車学校 代表取締役 **田村 満 氏**
1991年(平成3年) 岩手同友会 設立メンバー
2010年(平成22年) 岩手同友会 代表理事 就任



佐世保支部(第1分科会座長) 千北 豊明

田村氏の高田自動車学校は、津波を免れ震災後は地域の復興拠点として活躍されています。

1. 田村氏は、「幸運は準備された心に訪れる」と言われます。今の経営環境は、少子化・高齢化による需要の変化、欧州債務問題などでの円高と世界経済の減速、東日本大震災からの復興など危機感が深まる背景があります。我々も経営環境の変化を予想して自社の継続・発展のために、経営理念を見直し準備しておく、第2創業を目指すなどの計画がないと、幸運を手にする事は出来ないと思われま

2. 田村氏の会社は、「邂逅に喜びを」を経営理念とされています。出会い・めぐり合いを喜びとされています。我々の経営理念の中にも、田村氏のように健全な活動エネルギーとなる喜びの感情を大切にするなど、行動理念の充実を検討すべきと思われま

3. 田村氏は、「小さな一流企業を目指す」として、雇用を守る・誇りが持てる・生活を守る・売り上げを伸ばす・給与を上げる・200年以上続く企業を目指す等の理念を掲げられています。我々も、地域からあてにされる企業になる為に、「経営者の基本姿勢を確立する」、さらに「1人の人間としての自己姿勢を確立する」ことで、「何のために経営するのか」「何のために生きているのか」を明確にし、その理念を中期ビジョンや利益計画などで計画・実践しなければなりません。

4. 陸前高田市の人口は震災発生前には、2万4千人でしたが、約1800人の方が亡くなり、また、市外へ避難・就職などで、約1万8千人に減少しました。人口は経営の重要な要素です。そこで田村氏は、気仙支部の仲間と、地域で40歳

位から働ける地域を創る取り組みをされています。

5. 田村氏は、今年の大震災で人生が変わったと言われます。ライフラインが無くなり、売り上げゼロのなかで、雇用の維持・借入金の返済凍結など緊急の対応をして、社員の雇用を守った。

そして、自社が出来ることをすべてした。地域が無くなれば、我々も存在できない。救援物資の引受けは、同友会からの『地域に根ざした企業ならば、地域を助ける使命がある』という伝言だと解釈したそうです。

6. 「仕事とは何か」、田村氏は、働きは人間の自然の営みで、自分の持てる資質・天分・能力を発揮して自己実現を喜び、社会の連帯の中に生きること、自分の存在意識となって、人間の生きがいの源泉となるとされます。失業手当で、パチンコなどしないように言われています。

我々も、地域に役に立つ企業となり、社員と共に社会的有用性があり、人間性に満ちた仕事をしたいものです。

7. 復興への動きで、行政は先ず街を従前の状態に戻そうとしますが、仮設住宅に入っている人たちの声は、まず、自分の生活を元に戻すことです。我々は、社員や地域の暮らしをまず守ることを優先するべきです。

8. 田村氏は、「変化できる者だけが生き残る」と言われます。我々の会社が、企業変革を続けるには、「労使見解」が言うように、自発的に判断行動する社員が育ち、その自主的な創造力を発揮

させる仕組みが必要であると思われま

9. 最後に田村氏は、「日本人には目に見えない宝がいっぱいある」これが失われていた。日本の心、文化を大事にして、これを取り戻すことで、将来の素晴らしい日本を築くために、活動すると言われます。



第2分科会

『危機をチャンスに変える経営指針活用法』 ～世界一の感動創造人集団をめざして～

(株) クリエイトファーム 代表取締役 **栢川 勝志 氏**
2008年(平成20年) 鹿児島同友会 入会
2012年(平成24年) 鹿児島同友会副代表理事兼務
経営指針委員長



北松浦支部 第2分科会座長 松永 いづみ

黒豚の本場の鹿児島で、六白黒豚の生産から加工そして販売まで全て社内でまかなう一貫体制をとりつつ、黒豚の直営の販売専門店も経営されている栢川氏。

元々栢川氏は、音楽の道に進むことを考えられており、東京で音響の仕事やイベントの企画運営等の仕事をされていました。しかしその当時は多忙なあまりいつも夜遅い帰りが続き、子供さんの寝顔しか見たことがなかったそうです。家族との時間を作るため、また、お父様からの後継ぎ依頼もあり、35歳の時ふるさとへ家族とともに帰る決断をされました。

帰郷後、お父様の事業を継ぎましたが、東京の時と同じように仕事に邁進してしまい、いつのまにか家族の絆が壊れて、更に後継問題にも直面し、何のための帰郷だったのかと悔いた時期をしばらく送られていたようです。

夢もなく希望もなくただ仕事していたその苦悩の時に、ドキュメンタリー番組でお話をされていた和民の渡邊美樹社長(当時)の言葉や経営に対する姿勢に大いに感動を受けたとのことでした。

この時この世に命というものを授けられた意味を深く考えさせられ、番組を視た直後、和民へメールを送り翌日直ぐに東京へ会いに行かれました。

人生に大きな転換(分岐点となる巡りあい)が3回あると聞いたことがあります。

栢川氏にとっては、先ず東京との巡り合い、次には故郷へ戻った35歳の時、そして37歳の悶々とした時が人生の分岐点なのでしょう。

それから栢川氏は、人生の棚卸を行い人生再出



発の決意をされました。そして再び現在の最良のパートナーであるご家族そして沢山の良き友人を見つげられたそうです。

今回の経営指針書の報告背景には、報告者のこのような人生があったことを垣間見るこ

とができました。

また、栢川氏の経営における原点とも言えるエピソードのひとつに、長崎に関する出来事がありました。

五島のお客様への商品のお届けがどうしても約束の時間内に間に合わずことが出来ないという事態が生じてしまったのです。その時、栢川氏は決断しました。「何としてでもお届けする」と。そして5,000円の商品を自ら片道11時間(コストは、60,000円以上)かけて、寝ずに走り続け、無事お客様のご希望通りにお届けしたのです。

そこには「世界一の感動創造人集団を目指して」の栢川氏の行動理念がそのまま現場に落とし込まれているという他にないでしょう。

そういったところの経営が、会社の行動指針として現場の社員さんや販売される黒豚の商品などにも現れているのだと実感しました。

また黒豚の最良な肉をお客様のもとへ提供するために研究に没頭した期間が3年間。

これもまた理念の「私たちは食を究め、より多くの感動を創造し 社会に力強く貢献します。」に共鳴するエピソードでした。

経営指針書には、壁にぶちあたった時どう行動するのかを明確にすることはもちろんのこと、更に経営者の生き様が大切であると実感しました。後半、時間の都合もあり少し具体的な経営指針書の紹介の時間が足りなかった様に感じましたが、30年先のあるべき姿から今現在を俯瞰し、短期～長期の計画を立案する戦略表「ビジョン実現シート」も見せて頂きました。

その資料も公開して下さるとのことでした。長崎の会員の皆さんへはe-doyuでご紹介しますので必要な方は、ダウンロードして下さいとのことでした。

今回も改めて思いましたが、全国の中小企業家

同友会のメンバーにはこの様に素晴らしい仲間がたくさんいるのだと更に私も感動致しました。

栢川様 本当にありがとうございました。

また、室長を務めて下さった東会員、その他、前日の現場打ち合わせから当日朝の準備等で本当に多くの皆様にご協力頂きました。

この場を借りまして 本当にありがとうございました。と感謝の気持ちを伝えさせていただきます。



第3分科会

『郷土を守る最後の砦 中小企業振興基本条例』
～制定後の覚悟はできているか
条例の目的は制定ではない。
愛郷心で夢のある振興策を描こう～

郵便局(株)釧路鶴ヶ岱郵便局 局長 森川 浩一 氏

2003年(平成15年)北海道同友会 釧路支部 入会

2011年(平成23年)北海道同友会 釧路支部政策委員長 就任



長崎支部 出島地区会 第3分科会座長 町田 澄利

第3分科会は、北海道同友会 釧路支部の政策委員長の森川浩一氏に「郷土を守る最後の砦 中小企業振興基本条例 ～制定後の覚悟はできているか 条例の目的は制定ではない。愛郷心で夢のある振興策を描こう～」と題して報告をして頂きました。

まず、釧路を世界三大夕日の釧路(因に、前日には長崎が世界三大夜景に香港・モナコに並んで決定したばかりでした)、霧の街、釧路湿原、酪農王国、紙パルプ工場の街、日本最後の炭鉱など広々とした美しい風景写真やつらい写真を交えて紹介されました。

北海道の広さを地図上で九州、長崎、東南アジア、ヨーロッパ、アメリカの州との比較をされ、会場の皆さんが北海道のサイズのイメージづくりが出来上がった後、北海道の歴史について話されました。蝦夷という先住民の時代から和人による日本の領土化(植民地化)が進み、わずか110数年で近代的な用件を備えた地方都市へととなって



いきましたが、畜産・農業・炭鉱閉山で街が消えていっていると言うことでした。このようにかつて私たちの先祖は侵略する側でしたが、今では中央の和人が作った国家に北海道の和人は虐げられ、内

国的植民地になっています。移民の末裔である私たちを育ててくれた故郷を守るために、蓄えた力と知恵を振り絞って働くことが故郷へ果たすべき約束であり、郷土には溢れる愛を注ぐべきだと言われていました。つまり原点は「郷土愛」であり、郷土愛とは自己の存在根拠を支える土地と人への愛情であると言うことでした。この郷土愛が、中小企業振興基本条例制定運動の源になっているのです。

中小企業振興基本条例とは、中小企業が地域経済に果たす役割の重要性を行政が認め、中小企業、行政、市民そして大企業がそれぞれの役割を示したものであります。そして、中小企業憲章は条例の国家版であると考えていいのです。

制定が必要な理由は、人口減少・域外への流出を止めるための域内循環には全事業所数の99.7%、労働人口の70%を占める中小企業が重要な役割を担っており、行政、中小企業、市民が役割を果たすことが大切であることを明記されるからです。人、資源、経済が循環し再投資され再分配される持続可能な地域社会をつくるのが大切なのです。

釧根の条例制定後は、地域経済推進力研究事業により、起業の実態が明らかになることにより、既存の企業を守り、新規起業を増やすことになりました。釧路市の基本条例には、「域内循環」「域外貨獲得」「域内連携」の3つの柱である「産消協働」の考え方が入っています。どこの地域でも必ずセールスポイントはあり、既存の資源を活用

する、見方を変える必要があります。

条例制定運動が、組織拡大を伴う運動へつながる可能性があるのです。つまり、条例制定は同友会運動を未来へつなぎ、中小企業は平和な社会でこそ繁栄でき、平和で人間らしく安心して暮らせる社会をつくることになります。

条例制定後、円卓会議、k-Bizの実現、地域経済推進力研究事業、条例を市民へ啓発活動、三重県との地域間連携、条例未制定地域との交流、釧路信用金庫との業務協力をしていきますが、今後の予定としては、地域ファイナスの研究を追加実施していく予定だということでした。

以上の報告を受け、県民所得が全国で46番目であり、若手の県外流出が激しく人口減少に拍車をかけている状態の長崎県において考えてみました。右肩上がりの時代は、行政の方々も、我ら中小企業の事業主もその立場で、それぞれが努力することで十分でした。しかし、景気の悪い現状では、事業主の更なる経営努力はもちろん、お互いが手を取り合ってよき経営環境を整えていくことが必要であると思います。

このようなことから長崎県中小企業家同友会は、昨年度から長崎県産業労働部と3回の意見交換会を開催して参りました。この意見交換会を通じて、顔の見える関係づくりができ、県行政との

敷居が低くなり、双方の強みと弱みの状況が少しずつですが分かって参りました。さらに、今後の条例制定の動きの中で例えば報道機関を活用し、県民・市民にも地域での中小企業の存在意義を再認識していただき、よき支援者・応援者となって頂けるよう展開できればと思っております。

郷土愛がなければ条例は制定できないと言われていましたが、歴史をひもといていって郷土を愛することができればと考えています。大企業は違うでしょうが、行政の方も中小企業家も議員の方々も、そして県民も郷土愛はあるはずです。そしてまた、長崎県にも必ずセールスポイントがあるはずです。

今後さらに同友会会員の増強と他団体との共同作業、憲章・条例の周知を皆様と共にやっていきましょう。



第4分科会

『同友会で学んだ「人間尊重経営」とは』 ～障がい者とともに歩み中で見えた 地域における自社の役割～

やんばる彩葉合同会社 代表者 **比嘉 糸み子 氏**

1997年(平成9年) 沖縄同友会 入会

2011年(平成23年) 沖縄同友会 相談役 就任



佐世保支部 第4分科会座長 **原田 良太**

第4分科会は沖縄同友会より比嘉相談役にお越しいただき、『同友会で学んだ「人間尊重経営」とは・・・』と言う演題で報告を受けました。

報告は冒頭愛知生まれの報告者が結婚を機に沖



縄へ移住した際のエピソードから始まりました。本土復帰前、一部排他的な雰囲気もある中、新しい環境に溶け込もうと自らを地域の中に埋めていった報告者の話からは、現在報告者の会社実践している「地域を大事にし

ながら会社も発展していく」という理念の、根っここの部分を垣間見ることが出来たような気がします。来沖後親族からの勧めで始めた民宿経営では、顧客のニーズを先取りし、出身地に応じた食事の提供等、様々なサービスを提供し、着実に利益と信頼を得てきました。

そのような中、地域の広がり求め、新天地にて新事業を創業、その後、平成9年に同友会へ入会し「労使見解」を初めとする、様々な考えと出会い、「人間尊重経営」とは何かという事を考え

4つ設けた事です。そしてそのうちの2分科会を県の委員会に委託した事です。これは大会主幹の佐世保支部だけがフォーラム準備にかかわるのではなく、全県的にフォーラム作りに取り組んでいく事を狙いしました。これは色々な問題点も有りましたが、総じていい方向性が見いだせたと思っております。

反省点としては、当初計画していた”移動会場“についての、安全性・時間ロスなどに対するリスク認識が甘く、県立大関係者ほか、多くの皆様に迷惑をかけてしまったことです。またダイレクトメールを送らせ

ていただいた方々へのアプローチが殆ど出来なかったことも反省点として挙げられます。

ともあれ、会の最後に万歳三唱を託され、壇上に登った時には、何か万感の思いが込みあげました。あらゆる場面で協力いただいた実行委員の皆様、陰になり日なたになり手伝って頂いた事務局の皆様、そして全ての会員の皆様に御礼を申し上げたいと思います。

ありがとうございました。

記念式典・祝賀会風景



松尾代表理事あいさつ



長崎県産業労働部
山田部長の祝辞



佐世保市 朝長市長の乾杯あいさつ



報告者の皆さん



盛り上がる懇親交流会



フォーラム旗返還

山領実行委員長 万歳！



他県同友会の皆さん



トリナソーラー太陽光発電の販売協力店を大募集!

トリナソーラーは **1kwあたり 30万円代取付費込** **超ローコスト!しかもハイパワー!**

産業用50kw以下のコンパクトな小規模発電所プランを **もちろん住宅用もOK!**

パッケージ販売! スマホ(アプリ)で発電量を管理できる

↑内島のECO提案↓
 現代社会に、わずかしが残っていない良質の古材を保護し、再利用していきます。古材は、地球の宝だと考えます。

「使える古材」売ります! 「いじりたくない古材」買います! 「かんたんな古材」活かします!

トリーナ・ソーラー正規特約店 ■まずはお電話を! **TEL0957-62-2022** 建築古材屋
 (資)内島材木店 ▼古材ショップのホームページは 検索
 長崎県島原市新馬場町 <http://uchijima.jp> <http://www.kentikukozaiya.co.jp>

内島 範喜 会員 (島原支部)

●●●● 創立40周年記念 第19回経営フォーラム inSASEBO ご来賓の皆様 ●●●●

(順不同)

- | | |
|--------------------|---------|
| 長崎県 産業労働部長 | 山田 伸裕 様 |
| 佐世保市長 | 朝長 則男 様 |
| 松浦市 副市長 | 寺澤 優國 様 |
| 長崎市 商工部長 | 高比良 実 様 |
| 佐世保観光コンベンション協会 理事長 | 飯田 満治 様 |
| 長崎県中小企業団体中央会 事務局長 | 山田 誠治 様 |
| 日本政策金融公庫 佐世保支店 支店長 | 吉村 伸明 様 |
| 商工組合中央金庫 佐世保支店 支店長 | 佐藤 淳 様 |
| 十八銀行 佐世保支店 支店長 | 三井 一明 様 |
| 親和銀行 本店営業部 副部長 | 岩崎 土弥 様 |
| 長崎文化放送 常務取締役 | 瀧本 裕 様 |
| 長崎新聞社 取締役 佐世保支社長 | 才木 邦夫 様 |
| 毎日新聞社 佐世保支局長 | 井上 和也 様 |
| 中小企業家同友会全国協議会 専務幹事 | 松井 清充 様 |
| 福岡県中小企業家同友会 副代表理事 | 樋口 康治 様 |

会員活躍

長崎建設新聞10月6日▶

▼長崎新聞10月19日

県内外の名酒堪能 「リカーイベント」にぎわう



県内外の酒を紹介する「リカーイベントinアルカス」が17日、佐世保市三浦町のアルカスSASEBO Oであり、市民らが試飲会

酒造業の担当者(右から2人目)の説明を受ける来場者

松佐々町、池野晋一社長が毎年開き12回目。今年は県内外の酒造業・卸業の計85

社が参加。日本酒、焼酎、ワインなど各社自慢の逸品や新商品を展示販売。飲食店関係者や一般市民が訪れ、担当者の説明を聞きながら試飲したり、「聖定め」をした。酒の一斗と松浦市内の若手農業者グループが生産する麦焼酎「八人の侍」、芋焼酎「未来の農村」も販売。農業者の写真や原料の作物名、栽培時期などが載った経営計画書のラベルが来場者の目を引いていた。

池野社長は「数ある本県産酒の中でも、伝統製法で造る焼酎は全国に誇れる商品ばかり。多くの人に味わってほしい」と話した。

(中山雄一)

長崎市優秀工事・優秀現場代理人表彰 卓越した技術力を評価

16工事18社15人が晴れの受賞



長崎建設新聞

建設新聞社
〒850-0004 長崎市中野町165-11
TEL 0957-21-5552 FAX 0957-21-5556
〒850-0001 長崎市中野町165-11
TEL 0957-21-5552 FAX 0957-21-5556
日本建設業協会
http://www.kansetsushinbun.co.jp

10月6日(土)付日刊工業新聞に、長崎支部 浦上地区会池田繁隆会員が「2012年度優秀工事および優秀工事現場代理人表彰」を受賞され受賞式の模様が掲載されました。

選考基準を満たした、159件を表彰選考委員会が厳正に審査をし、その中から卓越した16工事18社とその工事にかかわった15人の現場代理人を選出その1社に選ばれました、(株)池田建築工業は発注者評価点に30点を加算されました。

安心と安全に社内一丸となって取り組む姿勢が評価された結果だと思ひます、おめでとうございます!

新入会員・復会の皆さんです

(敬称略)

< 10月入会 >

支 部 名	長崎 (出島地区会)		
氏 名	まるた やすひろ 丸田 保博		
企 業 名	(株) ウエスト		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0028 長崎市勝山町44-1 森ビル4F		
T E L	095-827-3099	F A X	095-820-1099
業 種	ビルメンテナンス		
企 業 P R	ビルメンテナンス、清掃用資材、機械販売、環境用品販売、建物内装・外装設計施工など、誠意を持って対応します。		
スポンサー	庄司 博昭		



支 部 名	佐世保		
氏 名	しもふるたち ただひさ 下古立 忠久		
企 業 名	かいぜ動物病院		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0143 佐世保市吉岡町1307-4		
T E L	0956-40-7667	F A X	0956-40-7667
業 種	動物病院		
企 業 P R	地域のホームドクターとして、インフォームドコンセントを大切にする、明るくアットホームな病院を目指します。		
スポンサー	片桐 孝明		



支 部 名	島 原		
氏 名	かわづ ゆか 河津 由佳		
企 業 名	珠企画		
役 職 名	代 表		
企 業 住 所	〒855-0851 島原市萩原3丁目5790-1		
T E L	0957-62-1711	F A X	0957-62-1711
業 種	商品企画、販売		
企 業 P R	島原半島に代々伝わる手延べそうめんの手法を用いて材料にこだわって作った手延べうどんの販売。 ブランド名 (眉山うどん)		
スポンサー	上田 五月男		



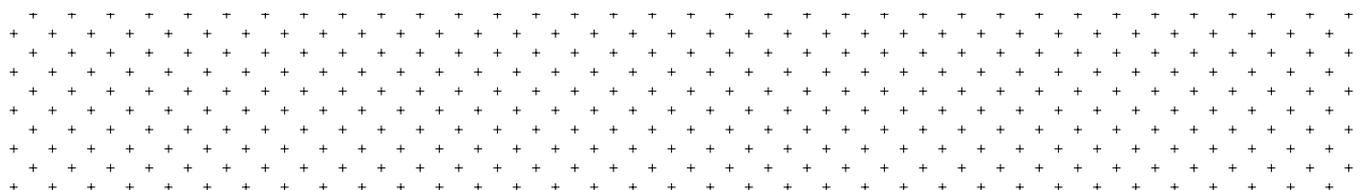
支 部 名	佐世保		
氏 名	ふかわ まさき 府川 正樹		
企 業 名	STSOL 府川開発		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0062 佐世保市金比良町4-29-102		
T E L	050-5549-8352	F A X	050-5549-8352
業 種	情報通信業		
企 業 P R	お客様の「困った」にお答えします。 最良のパートナーとして「信頼」を築いていきます。 ホームページ作成 日々の更新作業を簡単に行うことができますからホームページを作りたい、リニューアルした時はお手伝いします。		
スポンサー	永末 勝宏		



支 部 名	佐世保		
氏 名	しまばら いちろう 島原 一郎		
企 業 名	(有) しまばら		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-3241 佐世保市有福町554		
T E L	0956-58-2828	F A X	0956-58-2828
業 種	コンビニエンスストア		
企 業 P R	今後はコンビニエンス業を柱に、色んな部門での業務拡大を目指し、地元経済発展に寄与できればと思います。		
スポンサー	小松屋 隆久		

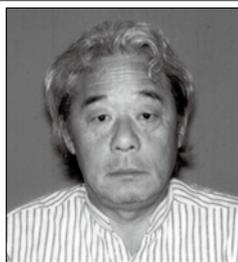


支 部 名	佐世保		
氏 名	ふなつ だいすけ 船津 大輔		
企 業 名	(有) 西海物産館		
役 職 名	総料理長 (経営会議スタッフ)		
企 業 住 所	〒851-3422 西海市西彼町小迎郷 35番地1		
T E L	0959-28-0345	F A X	0959-28-1130
業 種	ホテル、レストラン、ドライブイン業		
企 業 P R	西海橋西口、魚魚の宿 魚魚市場東口 一魚一会 ホテル、飲食、市場、土産品、レジャー施設です。		
スポンサー	小松屋 隆久		



＜ 復 会 ＞

支 部 名	佐世保		
氏 名	はら こうぞう 原 耕三		
企 業 名	原住宅総合企画		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒859-3242 佐世保市指方町3560		
T E L	0956-58-6555	F A X	0956-58-6555
業 種	建設業		
企 業 P R	店舗改装工事及び、一般住宅新築、リフォーム工事など承ります。		
前 会 員	川下 眞文		



支 部 名	佐世保		
氏 名	やまのうち ひでき 山之内 英樹		
企 業 名	まごころフーズ (株)		
役 職 名	店長 (トマトハウス)		
企 業 住 所	〒857-0322 北松浦郡佐々町 松瀬免93-1		
T E L	0956-62-5007	F A X	0956-62-2077
業 種	飲食業		
企 業 P R	弊社は、2010年8月に病院・施設等の給食受託会社として設立いたしました。設立してまだ間もない会社ですが、今後はさまざまな事業に進んで行けるよう安心安全な食の提供を心がけ、技・知識の向上に努めていきます。		
スポンサー	江口 陽一		



「気持ちよくなる歯医者さんの活用法」

～美味しく食べて、しっかりしゃべって、幸せ歯ッピー！！～ “歯ぐき磨き” で気持ちイイヨ～

まちだ歯科クリニック 町田 澄利

今回は、「要介護者の自立に向けた歯科の支援」についてお知らせ致します。

要介護者の訪問歯科診療は長崎市内では平成2年5月から実施されていますが、現在でもむし歯治療や入れ歯製作などが主体に実施されています。しかし、今後はいつまでも家族といっしょに食卓で食べ続けることができるための「口腔ケア支援」を重要な視点として実施することが必要となってきました。「口腔ケア支援」とは、歯と歯ぐき、そして頬や唇や上あごの粘膜、舌を含めた口腔清掃・粘膜マッサージと首・肩からお口の周りの体操と体幹（姿勢）保持訓練などの摂食・嚥下リハビリテーションを行うことです。この「口腔ケア支援」によって、誤嚥性肺炎を予防できることはもちろん、食べることができなかつた方がもう一度食べることができるようになることを目指しています。食べることができるようになると、体力が付き、寝返りができるようになり、さらには起き上がって座ることもできる可能性もあるのです。是非、あきらめないで歯科からの支援を求めてみませんか。

そこで「口腔ケア支援の内容（メニュー）」をご紹介します。口腔ケア支援をする前にまず大切

なことは、『歯ぐき磨き』を含めた口腔清掃をすることです。その後、①椅子に腰掛けて足底を床につけて座り（端座位）、②首を前後左右、右回し、左回し、肩の上げ下げ、③唇を前に突き出し「ウー」、横に引き「イー」、④すばめたまま左右、⑤舌を上下左右、⑥「パ・タ・カ・ラ」の発声、⑦顎を開けて閉じて、⑧頬を膨らませてへこませて、⑨大きく息を吸って、大きくはく、⑩咳払い、⑪机や車椅子の肘掛けを押しながら「エイ！」などがあります。これら一つひとつの機能訓練メニューの目的と勘所を理解した上で実施することが大切です。勘所を端的に言うと、動かすのに使う筋肉や関節をイメージしながら最大限に動かし、3～5秒間一時停止させること（ストレッチ）が大切なのです。しかし、訓練を継続して実施する事はなかなか難しいものです。そこで継続できるようにするために、日常生活の中に機能訓練メニューをとり入れたり、これらのメニューが入っている行動を織り混ぜていくことが大切です。若い方々も一緒に、是非やってみて下さいね。いつまでも若さを維持・獲得できますよ。

次回は、「歯科医院の賢い活用法」についてお知らせ致します。

折込サービス開始！

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを始めました。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

12月例会案内

●長崎支部 浦上地区会・出島地区会合同例会

日 時 12月19日(水) 午後6時30分
会 場 水辺の森公園レストラン
テ - マ 長崎支部 忘年例会
同友会に関してのお話
報 告 者 (有) 竹下隆文堂
内山 洋二 会員(長崎支部長)
(株) プライム
町田 喜代人 会員(浦上地区長)
(株) 福助
中村 貢一 会員(出島地区長)

これまでの長崎支部・浦上地区・出島地区
これからの " "
これからの同友会
自分にとっての同友会

●大村支部

日 時 12月20日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ - マ 脱サラ8年、頑張っています！
わが人生
～銀行を辞めて見えたこと～
報 告 者 ソニー生命保険(株) 長崎LPC第2支社
首藤 洋一 会員

銀行の融資担当として18年間勤務、企業再生プロジェクトに携わるなかで、サラリーマンとして出来ることの限界を感じ、より顧客の立場に立った仕事ができる生命保険会社に転職する。中小企業の経営者が銀行に求めている事と、銀行の考え方のギャップなど、元銀行マンならではの視点で、ご報告いただきます。また、生命保険会社の今後の動向など、中小企業経営者のためになる業界話などもお話しさせていただきます。

●諫早支部

日 時 12月21日(金) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
内 容 忘年例会

一年の総括を含めて今年の反省と来年への抱負を皆さんで語り合いましょう。余興参加募集中！家族や社員など日頃の感謝の気持ちを込め、共に一年間の労をねぎらってはいかが？

●佐世保支部

日 時 12月17日(月) 午後7時
会 場 佐世保市民会館
テ - マ (仮) 同友会復会までの道のり
報 告 者 まごころフーズ(株) トマトハウス店長
山之内 英樹 会員

山ノ内会員は、6年ほど前、以前勤めていた会社を退社したため同友会を退会しました。いつかはまた同友会に戻ってきたいと思いつつも、計画性もなく右往左往しているうちに歳月だけが過ぎていったそうです。今回、いろんな方との出会い、そして家族の協力のもと、レストラントマトハウスの店長という立場を頂き、また今後、会社の経営に携わりたいという願いで会社の承諾を得て、同友会に復会されました。まだ始めて間もないレストランですが、お客様を第一に考え、地元へ貢献をし、お客様と共に成長し、永く愛されるレストランにすることが目標との事です。今回の報告は、その5～6年間の道のりをいろんな方への感謝を込めながら報告致します。

●島原支部

日 時 12月13日(木) 午後7時
会 場 ホテル南風楼
テ - マ 「田舎にとどまりたくない、
田舎の商売」
～地域情報ビジネスの現場から～
報 告 者 ケーブルテレビジョン島原 専務取締役
FMしまばら 代表取締役社長
清水 真守 氏

1989年1月に会社設立、雲仙普賢岳大火砕流が発生する直前の1991年5月に開局し自主放送を開始されました。災害当時の苦難やメディアとして地域に情報を発信され島原に根ざした企業展開をなされています。現在はFMラジオを開局され地元から多くの情報を発信し地域ビジネス展開されています。メディアのあり方、田舎の今後の進むべき道を熱くお話しして頂けます。

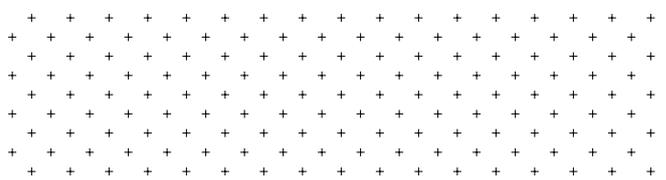
●北松浦支部

日 時 12月11日(火) 午後7時
会 場 サムソンホテル
内 容 忘年例会

会員拡大も含め、懇親例会を行います。

●青年経営者会

日 時 12月15日(土)
会 場 思案橋 割烹いろは
テ - マ 青年経営者会定時総会
来期の会長選任について



新商品

長崎さるくマット

ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

理事会報告

2012年11月理事会 議事録 抜粋

10月31日(木) カフェバーキューブ (佐世保支部 原田会員)

仲間づくりについて

- 1) 入会4名、退会3名を承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

報告・連絡事項

- 1) 10月 県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について
 - <経営・労務担当委員長>

11、12月は、企業変革支援プログラムの推進月間です。ぜひ、e-doyuへ登録し、経営課題を明確にしてください。
 - <情報広報委員長>

広報誌用例会報告書提出について、10月理事会内容を織り込んだマニュアルを作成しました。また、報告書の文中に人名がある場合は、「〇〇さん」という表記に統一することを協議しました。
- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)ー尾崎例会委員長

今月は、全支部 経営フォーラムを例会に充当されました。今後の例会を見ても、会員の経営体験報告が増えて来た様で何よりです。
- 3) 40周年記念経営フォーラムについてー町田担当理事、山領実行委員長

<登録・参加 一覧> 来賓15名

	目標	会員登録	会員出席	オブ登録	オブ出席	登録合計	出席合計
長崎	120	75	67	29	25	104	92
(浦上)	60	33	28	11	10	44	38
(出島)	60	42	39	18	15	60	54
大村	30	29	21	5	4	34	25
諫早	30	24	21	5	4	29	25
島原	20	17	15	7	4	24	19
佐世保	70	58	50	77	68	135	118
北松浦	30	22	20	1	1	23	21
他県				64	56	64	56
合計	300	225	194	188	162	413	356

<反省点等>

- ・会場の件が二転三転したことは大きな反省。
- ・帰りのバスについて、ひとり一言の感想に会外の方が「学びが共有できた」と感心されていた。
- ・実際すばらしかったが、やはり、40周年記念式典とは別にやった方が良かったのではないか。
- ・正副実行委員長は、この間仕事にならなかったのではないか?今後、外注も検討しては?
- ・良かった良かったではなく、動員目標を達成できた支部はどれだけあるか、検証すべき。
- ・次期開催地へのベナントの引き継ぎをした方がよい。

<収支報告>ー山領実行委員長ー大枠承認

- 4) 五島支部設立についてー川下五島支部設置副委員長
 - ・10月28日(日) 現地協議会開催 参加10名(敬称略)(長崎・浦上ー内山、末次、吉澤、諫早ー杉本、平湯、松田(一)、森(千)、和田、佐世保ー江口、川下)
 - ・現地6名、懇親会より1名増
皆さん非常に熱心で、協議会、懇親会とも活発な意見交換がなされました。今後も引き続き、同友会を知る会等を開催し、一人でも多くの方に入会して頂く様、活動を続けていきますので、更なるご紹介、ご協力等よろしくお願い致します。

5) 中同協関係の件

- ①主要行事の紹介と参加促進
- ②中同協 企業連携推進連絡会(10月9・10日 兵庫)
参加報告ー内山委員

6) その他

- ・山領実行委員長ー経営フォーラムCD販売の件 1枚 300円で販売します。
- ・宮田支部長ー小さな企業未来会議(10月30日 長崎商工会議所) 参加報告

協議・承認事項

- 1) 五島支部設立に関する予算承認の件ー川下五島支部設置副委員長ー承認
「組織強化費」(100万円)内で活動して頂きます。
- 2) 広報誌用「例会報告マニュアル」の内容承認と徹底について
広報誌用「例会報告マニュアル」の例会報告作成の流れについては承認。
11月例会報告より適用。ご協力頂きます様よろしくお願ひします。
「例会報告」の内容については、情報広報委員会に対し、「①ポイントの再協議並びに②その結果を理事会メーリングリストへ報告」を依頼。
- 3) 来期予算についてー吉田財務委員長
前期2月理事会で、現長崎支部より提案され決議された「一人当たりの活動費の支部間格差是正」を含めた予算組み立ての抜本的な見直しを検討中。

理事会で、支部長各位に、支部財政の現状報告、活動費についての意見を出して頂きました。
・委員会活動の停滞で繰り越し金も増えていましたが、今期は活発に開催しています。
・全国大会参加促進のため参加費の補助をしています。(初参加だけ対応という支部もあり)
・繰越金は0というスタンスで、活動費の有効活用を行っています。
・県委員会参加時の交通費補助対応をしています。

吉田委員長ー活動費が少ないという意見もありましたが、他の項目での調整は難しいとお考え下さい。もうひとつ大きなポイントは、事務局の体制強化(人員増)に向けた予算組が必要ということです。ご理解下さい。

決議事項ー理事会で出された意見を参考に、予算案、活動費等の有り方について継続審議。

- ・三役で協議を続けます。
- ・吉田委員長から支部に質問、要望等があれば理事会メーリングリストにて聞き取りを行います。
- ・支部役員会でも協議頂き、意見等をぜひ理事会メーリングリストに発信願ひます。

4) 来期の経営フォーラムに関してー町田経営フォーラム担当理事

提案内容ー「島原支部を中心に県央地区での運営・開催」(従来通りの考え方に基づき)

決議事項ー島原支部へ、①役員会での協議と、②その結果を12月理事会で報告を依頼。

5) 会費滞納者への対応に関してー吉田財務委員長

今回、3ヶ月以上の滞納者はなし。
※先月理事会での氏名公表者(1名)からは、滞納額全額の入金あり。

会員消息

●会社住所変更

島崎 和紀 会員 (長崎支部・浦上地区会)

新住所: 〒852-0032 長崎市興善町4-1 興善ビル7階

※電話・FAXは変更ありません

会員数(10月31日現在)

	長崎	(浦上)	(出島)	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	合計
目標	229	109	120	55	60	40	100	40	524
期首	182	91	91	46	45	30	69	29	401
現在	181	91	90	49	49	33	79	28	419